

第84回国民スポーツ大会
第29回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会

第4回全国障害者スポーツ大会専門委員会



書面開催資料

書面開催日：令和8年2月5日（木）



島根県観光キャラクター「しまねっこ」

第 84 回国民スポーツ大会・第 29 回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会第 4 回全国障害者スポーツ大会専門委員会

目 次

	頁
○ 委 員 名 簿	2
○ 報 告 事 項	
(1) これまでの大会準備経過	報告事項 1 5
(2) 競技会場予定施設の決定	報告事項 2 8
(3) 競技会場バリアフリー調査の経過	報告事項 3 9
(4) わたSHIGA輝く障スポ2025 視察報告	報告事項 4 26
(5) 全スポに向けた取り組み状況	報告事項 5 33

第 8 4 回国民スポーツ大会・第 2 9 回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会 全国障害者スポーツ大会専門委員会 委員 (順不同・敬称略)

	団体名	役職名	氏名	備考
1	公益財団法人 島根県障害者スポーツ協会		－	委員長
2	島根県環境生活部スポーツ振興課	課長	マツモト モリマサ 松本 守正	副委員長
3	島根県身体障害者団体連合会	会長	ノムラ タケノリ 野村 長典	
4	公益社団法人 島根県視覚障害者福祉協会	理事	フジハラ ヨシヒロ 藤原 良弘	
5	島根県ろうあ連盟	連盟長	イノウエ タカシ 井上 隆	
6	島根県心身障害児（者）親の会連合会	会長	ムロサキ トミエ 室崎 富恵	
7	島根県手をつなぐ育成会	副会長	サカタ ケンジ 阪田 健嗣	
8	島根県知的障害者福祉協会		－	
9	一般社団法人 島根県精神保健福祉会連合会	理事長	アベ ミナコ 安部 美佐子	
10	公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本・島根	副理事長	フジワラ ヒデアキ 藤原 秀晶	
11	社会福祉法人 島根県社会福祉協議会	常務理事	ナガオカ ヒデキ 長岡 秀樹	
12	公益財団法人 島根県スポーツ協会	事務局長	コンドウ カズユキ 近藤 一幸	
13	島根県パラスポーツ指導者協議会	会長	ヤスイ シンイチ 安井 新一	
14	一般財団法人 島根陸上競技協会	競技運営委員長	マツモト コウスケ 松本 浩介	
15	一般財団法人 島根県水泳連盟	事務局副主任	ナギラ アキラ 柳楽 晃	
16	島根県アーチェリー連盟		オカダ タダシ 岡田 正	
17	一般社団法人 島根県卓球協会	副会長	カワイ ヒロミツ 川井 弘光	
18	島根県障害者フライングディスク協会	会長	クトウ ナオキ 工藤 直樹	
19	島根県ボウリング連盟	理事長	クロミツ ヒデタカ 黒光 秀尊	
20	島根県ボッチャ協会	副会長	ハツモリ カナメ 八森 要	
21	一般財団法人 島根県バスケットボール協会	専務理事	ニシヨリ ケンイチロウ 錦織 健一郎	
22	島根県ソフトボール協会	副会長	サトウ ヒロユキ 佐藤 弘之	
23	島根県バレーボール協会	理事長	イヤマ シュンイチ 井山 俊一	
24	一般社団法人 島根県サッカー協会	専務理事	ホリエ ヒロオ 堀江 博生	
25	島根県特別支援学校長会	会長	ナカムラ アキコ 中村 明子	
26	島根県特別支援学級設置校長会	会長	ヤマモト ツトム 山本 勉	
27	島根県健康福祉部障がい福祉課	課長	イワサキ オサム 岩崎 靖	
28	島根県教育庁特別支援教育課	課長	ヤツカ マサヨシ 八束 政義	
29	島根県教育庁保健体育課	課長	オオタ シュンスケ 太田 俊介	

報 告

これまでの大会準備経過

年 月 日	内 容
平成30年 9月3日	(公財) 島根県体育協会が理事会・臨時評議員会で、第84回(2029年)国民体育大会招致を決議
9月10日	(公財) 島根県体育協会が、第84回(2029年)国民体育大会招致に関する要望書を、(公財) 島根県障害者スポーツ協会が第29回(2029年)全国障害者スポーツ大会招致要望書を、それぞれ県、県議会、県教育委員会に提出
9月26日	県議会が「第84回国民体育大会及び第29回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
10月25日	知事が県議会全員協議会において、両大会を2029年に招致することを表明
11月7日 11月8日	県、(公財) 島根県体育協会、県教育委員会が連名で、開催要望書を(公財) 日本スポーツ協会と文部科学省に提出
12月13日	(公財) 日本スポーツ協会国体委員会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が了承
平成31年 1月16日	(公財) 日本スポーツ協会理事会において、第84回(2029年)国民体育大会の島根県開催が内々定
令和元年 10月1日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会を設置、3回にわたり会議を開催
令和2年 6月3日	島根県国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会検討懇話会の提言書を岸本強座長より知事に提出
9月25日	(公財) 日本スポーツ協会、(公財) 日本障がい者スポーツ協会、文部科学省・スポーツ庁及び鹿児島県の4者が鹿児島国体及び鹿児島大会を令和5年に開催することを決定し、これにより本県で開催予定の第84回国民スポーツ大会及び第29回全国障害者スポーツ大会を令和12年に1年延期することが決定
10月2日	第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会設立総会・第1回総会を開催
令和3年 3月22日	準備委員会第1回常任委員会を開催
7月29日	準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
9月7日	準備委員会第1回広報・機運醸成専門委員会を開催

年 月 日		内 容
令和3年	10月7日	準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催
	10月12日	準備委員会第2回常任委員会を開催
令和4年	2月16日	準備委員会愛称・スローガン選定部会を開催
	3月7日	準備委員会第2回広報・機運醸成専門委員会を開催
	3月11日	準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
	3月11日	準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
	3月16日	準備委員会第2回総会を開催
	10月20日	準備委員会第3回広報・機運醸成専門委員会を開催
	12月7日	準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
	12月16日	準備委員会第3回総会を開催
令和5年	1月17日	準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
	2月17日	準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
	3月9日	準備委員会第3回常任委員会を開催（書面開催）
	7月11日	準備委員会第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
	7月14日	準備委員会第4回総会を開催（書面開催）
	7月27日	準備委員会第1回広報・地域づくり専門委員会を開催
	9月4日	準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
令和6年	2月6日	準備委員会第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
	2月9日	準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催（書面開催）
	3月6日	準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催
	3月14日	準備委員会第4回常任委員会を開催
	5月30日	準備委員会第2回広報・地域づくり専門委員会を開催
	6月25日	準備委員会第8回総務企画専門委員会を開催
	7月3日	準備委員会第5回総会を開催

年 月 日		内 容
令和6年	10月17日	準備委員会第1回宿泊・衛生専門委員会を開催
	12月17日	準備委員会第4回競技運営専門委員会を開催
	12月20日	準備委員会第1回輸送・交通専門委員会を開催
令和7年	1月29日	準備委員会第3回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
	2月3日	準備委員会第3回広報・地域づくり専門委員会を開催
	2月6日	準備委員会第1回式典専門委員会を開催
	2月13日	準備委員会第9回総務企画専門委員会を開催
	3月13日	準備委員会第5回常任委員会を開催
	3月17日	準備委員会第4回広報・地域づくり専門委員会を開催（書面開催）
	6月2日	県、（公財）島根県スポーツ協会、県教育委員会が連名で、開催申請書を（公財）日本スポーツ協会と文部科学省に提出
	6月30日	準備委員会第5回広報・地域づくり専門委員会を開催
	7月7日	準備委員会第10回総務企画専門委員会を開催
	7月16日	（公財）日本スポーツ協会理事会において、第84回（2030年）国民スポーツ大会の島根県開催が内定（国スポ内定に伴い第29回全国障害者スポーツ大会の島根県開催が併せて内定）
	7月29日	準備委員会第6回総会を開催
	12月17日	準備委員会第2回宿泊・衛生専門委員会を開催
	12月18日	準備委員会第2回輸送・交通専門委員会を開催
令和8年	2月5日	準備委員会第4回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催（書面開催）

第29回全国障害者スポーツ大会 競技会場予定施設の決定

第29回全国障害者スポーツ大会の競技会場予定施設について決定したことから、下記のとおり報告する。

競技名			独自	区分			市町村名	開催予定施設
				身	知	精		
団体競技	1	バレーボール	変更前	○			松江市 安来市	鹿島総合体育館 安来市民体育館
					○			
						○		
			変更後	○			松江市	鹿島総合体育館
					○			
						○	安来市	安来市民体育館
	2	ソフトボール	変更前		○		雲南市	雲南市内特設会場
			変更後		○		雲南市	加茂中央公園多目的広場・野球場

第29回全国障害者スポーツ大会 競技会場バリアフリー調査

報告書

(令和 7 年度実施分)



令和 8 年1月

競技会場バリアフリー調査報告書

目次

バリアフリー調査結果

競技会場	実施競技	頁
県立浜山公園陸上競技場	陸上競技(肢・視・聴・内・知)	11
県立水泳プール	水泳(肢・視・聴・内・知)	12
くにびきメッセ	卓球(STTを含む)(肢・視・聴・知・精)	14
県立サッカー場 益田運動公園陸上競技場	サッカー(知)	15

身体障がい(肢:肢体不自由、視:視覚障がい、聴:聴覚障がい、内:内部障がい)

知:知的障がい

精:精神障がい

(参考)バリアフリー調査の概要……………P.17

(留意事項)

競技会場バリアフリー調査は、令和7年度及び令和8年度の2カ年にかけて、全14競技会場での実施を予定しています。

本報告書は、令和7年度実施分の県有施設4会場を終えた時点での、暫定版となり、最終報告は全会場の調査を終えた後に、再度取りまとめを行う予定としていきますのでご留意ください。

主な意見

■駐車場・屋外通路

- ・多目的駐車場の数が少ない。
- ・多目的駐車場のマークが遠くからでも見えやすいと良い。



写真①

■出入口

- ・スロープの距離が長く勾配が少し急。【写真①】



写真②

■会場内通路

- ・競技場入口泥落とし付近が雨で滑りやすい。
【写真②】
- ・点字ブロックや階段先の通路での見えやすい案内表示など、視覚・聴覚障がい者への配慮がもう少しあっても良い。



写真③

■トイレ

- ・全体的にトイレの数が不足
- ・和式トイレが多い。【写真③】
- ・多目的トイレの数が少なく、案内表示も分かりにくい。

■階段

- ・明度差が分かりにくい。
- ・視覚障がい者にとっては、両サイドに加え真ん中に手すりがあるとより良い。



写真④

■観客席

- ・車いす観客席のバーに空洞があり危険。【写真④】
- ・段差がやや高く、明度差が分かりづらい。【写真⑤】
- ・車いす同士がすれ違うには通路がやや狭い。
- ・スロープが片側のみのため、導線に工夫が必要。



写真⑤

主な意見

■駐車場・屋外通路

- ・グレーチング(集水桝部分)に視覚障がい者の杖(白杖)の先端がはまってしまう。【写真①】
- ・点字ブロックが老朽化している。



写真①

■出入口

- ・スロープの幅が狭く、2台でのすれ違いが困難。【写真②】
- ・スロープの両端に排水用の溝があり危険。
- ・視覚障がい者用に会場入口に誘導用電子チャイムがあると良い。



写真②

■会場内通路

- ・1階廊下に手すりがあると良い。
- ・通路が狭いため一方通行など導線に工夫があると良い。



写真③

■トイレ

- ・入口に自動音声案内があると良い。
- ・案内表示が小さく見えづらい。
- ・トイレ全体の数は少なく、和式トイレが多い。
- ・多目的トイレの数が少なく、中も狭い。【写真④】



写真④

■更衣室

- ・通路の幅が狭い。
- ・多目的更衣室は交差できる幅が無い。【写真⑤】



写真⑤

■階段

- ・明度差が無い。

■会場内通路

- ・全体的に通路が狭い。【写真⑤】
- ・1F廊下に手すりが無い。

■観客席

- ・車いす観客席の上の手すりが、空洞があり危険。

【写真⑥】

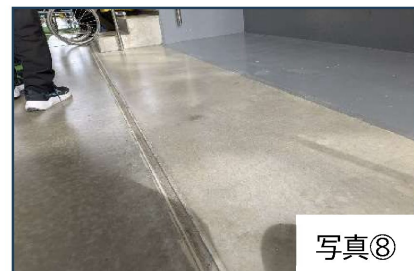
- ・階段部分に、階段の無い段差があり危険。
- ・車いす観客席のスペースが狭い(席が少ない)。
- ・全体的に幅が狭いため、出入口等で通行の整理が必要。【写真⑦】
- ・床(コンクリート)が滑りやすい。【写真⑧】



写真⑥



写真⑦



写真⑧

■エレベーター(ある場合)

- ・乗降ロビーから出る扉が重い。
- ・出入口の幅が狭いので、出入りの通行整理が必要。
- ・エレベーターの場所が分かりやすいよう案内表示必要。

主な意見

■駐車場・屋外通路

- ・点字ブロックの色が目視しにくい。
- ・通路から階段になるところに、視覚障がい者用に明度差があると良い。【写真①】
- ・入口までの点字ブロックは両側にあれば良い。【写真①】



写真①

■出入口

- ・点字ブロックの色が目視しにくい。【写真①】
- ・各入口ドア下の段差(ドアレール)への対応必要。【写真②】【写真③】



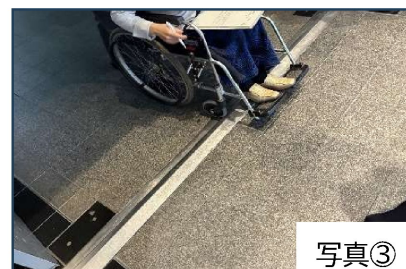
写真②

■会場内通路

- ・点字ブロックが1Fトイレ付近までしかない。

■トイレ

- ・一般トイレに、一部点字や手すりが無い箇所がある。
- ・多目的トイレは、車いすの転回なども考えた際には中が狭い。【写真④】【写真⑤】
- ・全体的に数が少ない、案内表示も小さい。
- ・自動音声案内があると良い。



写真③

■エレベーター(ある場合)

- ・1機のみなので、混雑回避のための工夫必要。
- ・エレベーターまでへの案内表示が必要。
- ・ボタンに点字が無い。
- ・出入口に点字ブロックがあると良い。



写真④

■その他

- ・選手控室からトイレやSTT競技会場までの間に点字ブロックがあると良い。



写真⑤

主な意見

■駐車場・屋外通路

- ・スロープ付近等、雨水の排水溝に蓋など必要。
- ・多目的駐車場のマークラインが消えている部分がある。【写真①】



写真①

■出入口

- ・スロープの幅が狭く、距離も長く勾配がやや急。【写真②】
- ・スロープ地面に滑り止めなどあれば良い。
- ・益田運動公園陸上競技場のスロープは、幅が狭く、離合が困難。



写真②

■会場内通路

- ・場所が分かりやすいような案内表示必要。

■トイレ

- ・和洋式、オストメイト表示等の案内表示が無い箇所がある。【写真③】
- ・トイレ前に自動音声案内必要。
- ・数が少ない。
- ・多目的トイレにユニバーサルシートが必要。【写真④】



写真③



写真④

■更衣室

- ・ロッカーに番号があった方が良い。【写真⑤】

■階段

- ・益田運動公園陸上競技場の階段で、明度差が無い部分がある。



写真⑤

■観客席

- ・観客席前の排水の段差が気になる【写真⑥】
- ・車いすの高さによってはピッチが見づらい（サイトラインが不十分）
- ・車いす観客席の色付けなど、視覚的に分かりやすくする必要がある。【写真⑦】
- ・益田運動公園陸上競技場の、車いす観客席の場所が通路導線上で分かりづらい。【写真⑦】



参 考

第29回全国障害者スポーツ大会 競技会場バリアフリー調査実施について

1 目 的

第29回全国障害者スポーツ大会に参加するすべての人が安全で快適に大会を楽しむことができる会場づくりを行うため、関係団体とともに、競技会場のバリアフリーの状況等に係る現地調査を行い、会場仮施設整備設計等の参考とする。

2 調査の視点

(1) 安全性

障がいのある人をはじめ、すべての人に配慮した導線の設定や区分けを行い、安全な会場づくりに努める。

(2) 快適性

案内看板や情報保障に関する設備やスロープ、多目的トイレの設置など、すべての人が快適に利用できる会場づくりに努める。

(3) 簡素・効率化

既存施設を最大限に活用し、仮設物による対応を基本とし、国スポ等で使用した物品等を有効活用するなど、簡素化・効率化に考慮した会場づくりに努める。

3 主な調査内容

- (1) 段差解消のためのスロープ設置箇所（芝生・土部への養生等を含む）
- (2) 案内看板や情報保障機器等の設置箇所（案内表示方法を含む）
- (3) 多目的トイレ等の設置状況
- (4) 車いす使用者用席の設置箇所
- (5) 車いす使用者用駐車場の有無
- (6) その他（手すりや椅子の設置、バスの駐車スペース及び乗降場所の確保 等）

4 調査参加団体（会場地第1次選定状況）

	区分	団体名		区分	団体名
1	関係団体	(公財)島根県障害者スポーツ協会	21		島根県ボッチャ協会
2		(公財)島根県スポーツ協会	22		(一財)島根県バスケットボール協会
3		島根県パラスポーツ指導者協議会	23		島根県ソフトボール協会
4		スペシャルオリンピックス日本・島根	24		島根県バレーボール協会
5		島根県特別支援学校長会	25		(一社)島根県サッカー協会
6		島根県特別支援学級設置校長会	26	県関係課	スポーツ振興課
7		(社福)島根県社会福祉協議会	27		障がい福祉課
8		島根県心身障害児（者）親の会連合会	28		特別支援教育課
9		島根県身体障害者団体連合会	29		保健体育課
10		島根県手をつなぐ育成会	30	会場地市	松江市
11		(一社)島根県精神保健福祉会連合会	31		出雲市
12		(公社)島根県視覚障害者福祉協会	32		益田市
13		島根県ろうあ連盟	33		安来市
14		島根県知的障害者福祉協会	34		雲南市
15	競技運営団体	(一財)島根陸上競技協会	35	第84回国民スポーツ大会・第29回 全国障害者スポーツ大会島根県準備 委員会事務局	
16		(一財)島根県水泳連盟			
17		島根県アーチェリー連盟			
18		(一社)島根県卓球協会			
19		島根県障害者フライングディスク協会			
20		島根県ボウリング連盟			

5 調査施設（会場地第2次選定状況）

競技	会場地	会場	競技参加者（競技規則より）					
			身				知	精
			肢	視	聴	内		
開・閉会式	出雲市	県立浜山公園陸上競技場	○	○	○	○	○	○
陸上競技	出雲市	県立浜山公園陸上競技場	○	○	○	○	○	
水泳	松江市	県立水泳プール	○	○	○		○	
アーチェリー	出雲市	出雲市内特設会場	○		○	○		
卓球（STTを含む）	松江市	くにびきメッセ	○	○	○		○	○
フライングディスク	松江市	松江市営陸上競技場	○	○	○	○	○	
ボウリング	広島県 東広島市	賀茂ボール					○	
ボッチャ	出雲市	出雲だんだんとまとアリーナ	○					
バスケットボール	松江市	松江市総合体育館					○	
車いすバスケットボール	松江市	松江市総合体育館	○					
ソフトボール	雲南市	雲南市内特設会場					○	
ブラインドベースボール	浜田市	三隅中央公園多目的広場 三隅中学校グラウンド		○				
フットソフトボール	出雲市	湖陵総合公園野球場・多目的広場					○	
バレーボール	松江市	鹿島総合体育館			○			
バレーボール							○	
バレーボール	安来市	安来市民体育館						○
サッカー	益田市	県立サッカー場 益田運動公園陸上競技場					○	

※肢：肢体不自由、視：視覚障がい、聴：聴覚障がい、内：内部障がい、知：知的障がい
精：精神障がい

※会場施設の状況によっては、以下「6 今後のスケジュール」によらない場合がある。

6 今後のスケジュール

2025～2026年	2027年～2028年	2029年	2030年
バリアフリー調査	会場仮施設基本設計	会場仮施設実施設計	・仮設物の設置 ・リハーサル大会 ・リハーサル大会後調整 ・全スポ大会 ・仮設物の撤去

会場地バリアフリー調査チェックリスト

調 査 日 ： 令和 年 月 日 時 分～ 時 分

調査会場 ：

調 査 者 ： 団体名 _____ 氏名 _____

場所	調査項目	チェック欄		「気になる（不十分）」に☑された理由
		気にならない (十分)	気になる (不十分)	
① 駐車場 (会場に至るまでの経路を含む)	車いす使用者の乗降しやすい広さがあるか	☐	☐	
	車いす使用者用駐車場であることが分かりやすく表示されているか	☐	☐	
	駐車場から会場までの経路について、車いす使用者が移動しやすい経路となっているか	☐	☐	
	通行の支障となる段差等の障害物はないか (排水溝の溝ぶたの状況、舗装状況含む)	☐	☐	
	その他			

会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目	チェック欄		「気になる（不十分）」に☑された理由
		気にならない (十分)	気になる (不十分)	
② 出入口付近	通行の支障となる段差等の障害物はないか	☐	☐	
	通行しやすい幅が確保されているか	☐	☐	
	スロープの傾斜が急勾配ではないか	☐	☐	
	その他			
③ 会場内通路	車いすの転回スペースはあるか	☐	☐	
	通行の支障となる段差等の障害物はないか	☐	☐	
	通行しやすい幅か	☐	☐	
	移動に支障のない地面状況か (滑りにくさ等)	☐	☐	
	その他			

会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目	チェック欄		「気になる（不十分）」に☑された理由	
		気にならない (十分)	気になる (不十分)		
④ トイレ	トイレの数は十分か 【一般トイレ、多目的トイレ】	☐	☐		
	案内表示は見やすいか (大きさ・色・男女別表示など)	☐	☐		
	一般用 トイレ	洋式トイレは十分設置されているか	☐	☐	
		和洋式の見やすい表示はあるか	☐	☐	
		床置き小便器が設置されているか（壁掛式の場合は高さが適切か）	☐	☐	
		手すりは使いやすく設置されているか	☐	☐	
		洗面台は利用しやすいか	☐	☐	
	多目的 トイレ	出入りに支障のない扉・幅・広さか	☐	☐	
		車いす使用者が円滑に利用できるような十分な空間が確保されているか	☐	☐	
		非常用ボタンが使いやすい位置に設置されているか	☐	☐	
		手すりは使いやすく設置されているか	☐	☐	
		洗面台は利用しやすいか	☐	☐	
	その他				

会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目	チェック欄		「気になる（不十分）」に☑された理由		
		気にならない (十分)	気になる (不十分)			
⑤ 更衣室	通行の支障となる段差等はあるか		☐	☐		
	車いす使用者が通行しやすい幅か		☐	☐		
	車いす使用者と歩行者のすれ違いは可能か		☐	☐		
	ベンチやロッカーは使用しやすいか（高さ・位置等）		☐	☐		
	シャワー室 (ある場合)	床は滑りにくい素材になっているか		☐	☐	
		水栓器具の操作は容易か		☐	☐	
		手すり等は使用しやすい位置に設置されているか		☐	☐	
		車いす使用者が円滑に利用できる十分な広さがあるか		☐	☐	
	その他					
⑥ 階段	手すりが設置されているか		☐	☐		
	階段の踏面の色は明度差がありわかりやすいか		☐	☐		
	つまずきの原因となるものはないか		☐	☐		
	その他					

会場地バリアフリー調査チェックリスト

場所	調査項目	チェック欄		「気になる（不十分）」に☑された理由
		気にならない (十分)	気になる (不十分)	
⑦ 観客席	出入口から車いす使用者用席までの導線に段差はないか	☐	☐	
	出入口の幅は確保されているか	☐	☐	
	車いす使用者用席までの導線で車いす使用者と歩行者のすれ違いは可能か	☐	☐	
	車いす使用者用席が設置されているか	☐	☐	
	サイトライン(可視線)は確保されているか	☐	☐	
	転落防止等の安全対策が施されているか	☐	☐	
	その他			
⑧ エレベーター (ある場合)	車いす使用者に支障のない出入口幅か	☐	☐	
	車いす使用者に支障のないかごの奥行きは確保されているか	☐	☐	
	車いす使用者が利用しやすい位置に制御装置は設置されているか	☐	☐	
	昇降方向を音声により知らせる装置が設置されているか	☐	☐	
	制御装置は視覚障がい者が円滑に操作することができる構造となっているか	☐	☐	
	乗降ロビーは十分な広さがあるか	☐	☐	
	その他			

会場地バリアフリー調査チェックリスト

その他、特記事項等

わた SHIGA 輝く障スポ 2025 視察報告

1. 概 要

- ・ 滋賀県内 11 市1町で、10 月 25 日(土)の開会式から 27 日(月)の閉会式までの 3 日間で開催された。
- ・ 14 の正式競技が行われ、競技には選手や観客などを含め、延べ 80,744 人が大会に参加した。※数値は速報値

■開会式・閉会式

式典	会場 所在地	会場	10/25 (土)	10/26 (日)	10/27 (月)
開会式	彦根市	平和堂HATOスタジアム (彦根総合スポーツ公園陸上競技場)	◎		
閉会式					◎

■正式競技【14 競技(個人競技7・団体競技7)、11 市 1町】

競技名	障害区分	会場 所在地	競技会場	競技 日数	10/25 (土)	10/26 (日)	10/27 (月)
個人 競技	陸上競技	彦根市	平和堂HATOスタジアム (彦根総合スポーツ公園陸上競技場)	3	●	●	●
	水泳	草津市	インフロンニア草津アクアティクスセンター (草津市立プール)	2	●	●	
	アーチェリー	愛荘町	愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	1		●	
	卓球 (サウンドテーブルテニスを含む)	野洲市	野洲市総合体育館	2	●	●	
	フライングディスク	甲賀市	甲賀市水口スポーツの森	3	●	●	●
	ボッチャ	甲賀市	甲賀市水口体育館	2	●	●	
	ボウリング	彦根市	ラピュタボウル彦根	2	●	●	
団体 競技	バスケットボール	知	大津市	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	2	●	●
	車いすバスケットボール	身	大津市	滋賀ダイハツアリーナ (滋賀アリーナ)	2	●	●
	ソフトボール	知	高島市	高島市今津総合運動公園第1グラウンド・ 第2グラウンド	2	●	●
	グランドソフトボール	身	東近江市	東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	2	●	●
	バレーボール	身	近江八幡市	近江八幡市立運動公園体育館	2	●	●
		知	湖南市	湖南市総合体育館	2	●	●
		精	草津市	草津市立総合体育館	2	●	●
	サッカー	知	守山市	野洲川歴史公園サッカー場 (ビッグレイク)	3	●	●
	フットソフトボール	知	長浜市	県民共済ドーム長浜 (滋賀県立長浜ドーム)	2	●	●

■オープン競技(4 競技、4市)

競技名	障害区分	会場 所在地	競技会場	競技 日数	競技日程 令和7年(2025年)
S0バドミントン	知	彦根市	プロシードアリーナHIKONE (彦根市スポーツ・文化交流センター)	2	10/18(土)～ 10/19(日)
ゴールボール	身・知・精	守山市	守山市民体育館	1	10/19(日)
スポーツウエルネス吹矢	身・知・精	大津市	皇子が丘公園体育館	1	10/19(日)
卓球バレー	身・知・精	栗東市	栗東市民体育館	1	10/12(日)

2. 開閉会式(平和堂 HATO スタジアム) 開会式:10/25(土)・閉会式:10/27(月)



開会式 次第

時刻	次第
7:30	開場
9:00	ウェルカムフェスタ開始
9:30	ウェルカムフェスタ終了
9:30	オープニングプログラム開始
10:00	オープニングプログラム終了
10:09	皇族御着席
10:10	開式通告
10:11	選手団・役員入場開始
10:41	選手団・役員入場完了
10:42	開会宣言・大会会長あいさつ
10:45	国旗掲揚
10:47	大会旗・滋賀県旗・彦根市旗掲揚
10:50	文部科学大臣あいさつ
10:53	皇族お言葉
10:56	炬火入場・点火（おもてなし演技を含む）
11:06	選手代表宣誓
11:10	閉式通告
11:11	皇族御退席
11:12	エンディングプログラム開始
11:49	エンディングプログラム終了
11:50	終了

閉会式 次第

時刻	次第
14:00	開場
15:00	ウェルカムフェスタ開始
15:30	ウェルカムフェスタ終了
15:39	皇族御着席
15:40	開式通告
15:41	大会会長あいさつ
15:44	スポーツ庁長官あいさつ
15:47	皇族お言葉
15:50	大会旗・滋賀県旗・彦根市旗降納
15:53	国旗降納
15:55	大会旗引継
15:58	炬火納火
16:01	閉会宣言
16:02	閉式通告
16:08	ファイナルステージ開始
16:38	ファイナルステージ終了
16:39	皇族御退席
16:40	選手団・役員 退場開始
16:59	選手団・役員 退場完了
17:00	終了

(1) 開会式の様子

- ・ 式典会場周辺は国スポ式典時に加え、「おもてな SHIGA エリア」の出店者に福祉施設の出店やゲームコーナーなどが増えていた。【写真①】
- ・ 手話・筆談ボランティアが耳マークがプリントされたサコッシュを身に着けており（全会場共通）、サポートを必要とされる方にとって見分けが付きやすい工夫がされていた。【写真②】
- ・ 式典終了後の選手団退場後も退場口周辺で手の空いたスタッフが拍手で出迎えており、選手団は楽しそうにしていた。
- ・ 「おもてな SHIGA エリア」の段差を埋めるため白いスロープが敷かれていた（国スポ時は隙間があった）。【写真③】
- ・ すべてのトイレに自動音声案内装置が設置してあった。【写真④】
- ・ 全体的な流れは国スポと同じ演目だが、政令指定都市も出席しているため、市旗が飾られる事や、選手団の人数が多いなどの違いがあった。



写真①



写真②



写真③

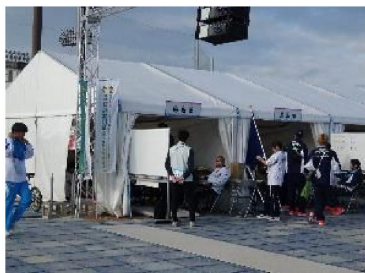
福祉施設も展示出展

情報ボランティア着用のサコッシュ

段差を埋める仮設スロープ



写真④



島根県選手団控所



式典行進の様子



賑わう展示ブース



選手団整列の様子



大型モニターで映像投影

(2) 閉会式の様子

- ・ 新しい施設であり、大会のために特別に設けられた設備は仮設スロープや自動音声案内等のみで、会場全体的にバリアフリー環境が整っていた。
- ・ 視覚障がい者等への情報提供のため、会場内でラジオ放送が行われていた。
- ・ 午前中の陸上競技終了後に、約1時間で閉会式会場へ会場転換が行われていた。観客は一度場外へ退場し、閉会式参加者は AD チェック等を受け再入場。

【写真⑤】

- ・ 会場への一般観客用のシャトルバスは用意されておらず、徒歩(最寄の彦根駅から 20 分程度)かタクシー利用(会場内に臨時のタクシー乗降所を設置)。
- ・ 原則、閉会式では全ての選手団が参加しているの、開会式と比べ会場全体の人数が多かった。【写真⑥】
- ・ 大型モニターで大会を振り返る映像等が流され、閉会の雰囲気が演出されていた。【写真⑦】



式典への転換の様子



ボランティア等で椅子を配置



式典前に提供された弁当



写真⑤

式典前の AD チェック



写真⑥

参加した多数の選手団



写真⑦

大型モニターへ投影



退場時は滋賀県選手団が見送り



式典後の彦根駅ホーム



式典後にバスを待つ選手団

3. 競技運営

- ・ 多くのスタッフ(選手団班、選手団サポーター、手話・筆談ボランティア、医療・救護班など)により運営され、スタッフは役割ごとに色分けされた専用のゼッケンと帽子を着用。
- ・ 各会場の観客席に用意された情報保障席には、情報保障サポーター(手話、手書き要約筆記・筆談、パソコン要約筆記)が常駐し、会場アナウンスを手話やホワイトボードへの記載により伝えていた。【写真⑧】【写真⑨】
- ・ 全会場にカームダウンルームが設置され、利用回数を、シールを貼付けることで算出していた。【写真⑩】
- ・ 各会場に設けられたコンディショニングルームは、滋賀県の理学療法士会、作業療法士会、柔道整復師会、鍼灸師会等が運営し、選手のケアを行っていた。【写真⑪】
- ・ おもてなし広場では、開催地市町の特産品等が販売され、市町の職員や観光協会職員がPRを行っていた。【写真⑫】



写真⑧

PC 入力で要約筆記を行うボランティア



写真⑨

ホワイトボードに記入し情報支援を行うボランティア



写真⑩

全会場に整備されたカームダウンルーム



写真⑪

コンディショニングルーム



写真⑫

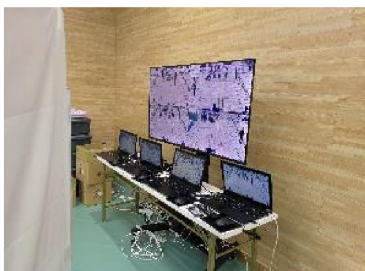
おもてなし広場の物販



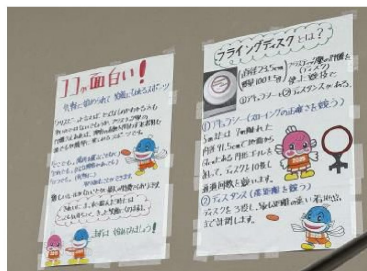
多くの学生が選手団サポーターとして参加



賑わう開閉会式会場のおもてなし広場



競技は全スポチャンネルでオンライン配信



競技の魅力を伝える掲示物

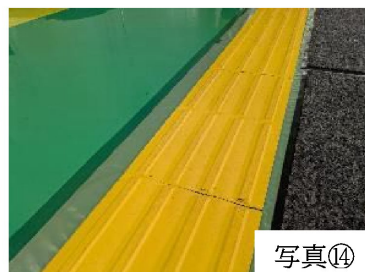
4. バリアフリー対策

- ・ 各競技会場において、段差がある部分は仮設スロープで対応。視覚障がいのある競技会場では、点字ブロックが仮設されている箇所もあった。【写真⑬】【写真⑭】
- ・ 参加選手が多く、常設トイレが少ない会場では、仮設トイレが多く設置されていた。多目的仮設トイレはオストメイト対応のものもあるが、全てがオストメイト対応となっていたわけではなかった。【写真⑮】【写真⑯】【写真⑰】
- ・ 常設トイレを含め、全会場でトイレ入口に自動音声案内装置が設置されていた。【写真⑱】
- ・ 指定乗降地や各競技会場と宿泊施設間には、シャトルバスや福祉タクシー車両も多く準備され、身体障がい者をはじめ多くの方が利用されていた。【写真⑲】



写真⑬

仮設スロープ



写真⑭

仮設置された点字ブロック
(卓球・サウンドテーブルテニス)



写真⑮

屋外競技会場の仮設トイレ



写真⑯

仮設テント内の仮設トイレ



写真⑰

常設と変わらない仮設トイレ機能
(写真はオストメイト付トイレ)



写真⑱

トイレ前に設置された自動
音声案内装置



写真⑲

会場で利用される福祉タ
クシー車両



屋外競技で敷設されたパネル



競技会場横に整備された
大型の仮設テント(選手団
控所)

5. 島根県選手団の活躍

滋賀障スポでは島根県選手団として多くの選手が参加し、活躍した。

【出場状況】

個人競技：22名 7競技(35種目)
団体競技：バスケットボール男子(知的障がい) 12名
サッカー(知的障がい) 12名

【成績】

金メダル 9個 銀メダル 7個 銅メダル 5個

計 21個



島根県選手団



アーチェリー



卓球



陸上競技



バスケットボール



ボッチャ



サッカー



フライングディスク



ボウリング



島根かみあり国スポ・全スポ 2030

1. 特有6競技の競技役員（審判員等）養成年次計画

概要

「第29回全国障害者スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画」にて、各競技団体で養成年次計画を策定することとしている。

養成年次計画

競技名	県内 必要数 (A)	従事見 込数 (B)	不足数 (A-B) = (C)	養成目 標数 (C)×1. 3	養成年次計画（資格取得：延べ人数）						計
					R6 6年前	R7 5年前	R8 4年前	R9 3年前	R10 2年前	R11 1年前	
サウンドテーブルテニス	10	0	10	13		4	3	3	3		13
フライングディスク	109	22	87	114	20	20	20	30	20	4	114
ボッチャ	42	6	36	48	6	6	11	20	20		63
車いすバスケットボール	7	0	7	10	3	6	5	7	8		29
ブラインドバースボール	15	0	15	20		10	10				20
フットソフトボール	15	0	15	20		10	10				20

（補足1）全スポ大会の円滑な運営のため、資格者を養成後、審判資質の向上をはかる。

（補足2）養成目標数と養成年次計画【計】は一致しない競技あり。（養成年次計画は、延べ人数のため）

（補足3）本計画は進捗状況を踏まえて、各競技団体と協議の上、随時見直しを行う。

1. 特有6競技の競技役員（審判員等）養成年次計画

令和6年度分の養成実績

競技名	県内 必要数 (A)	従事見 込数 (B)	不足数 (A-B) = (C)	養成目 標数 (C)×1. 3	養成年次計画（資格取得：延べ人数）						計
					R6 6年前	R7 5年前	R8 4年前	R9 3年前	R10 2年前	R11 1年前	
サウンドテーブルテニス	10	0	10	13		4	3	3	3		13
					1						1
フライングディスク	109	22	87	114	20	20	20	30	20	4	114
					12						12
ボッチャ	42	6	36	48	6	6	11	20	20		63
					9						9
車いすバスケットボール	7	0	7	10	3	6	5	7	8		29
					1						1
ブラインドバースボール	15	0	15	20		10	10				20
					0						0
フットソフトボール	15	0	15	20		10	10				20
					0						0

（補足4）実績数は競技団体への調査結果に基づく

【下段】実績値

2. 競技役員（審判員等）の養成

概要

- ・各競技会の円滑な運営等を目的に、各競技団体へ補助金を交付
- ・補助内容は、大きく分けて以下の2つ

①審判員等の養成（資格取得 等）

②開催準備（先催大会視察 等）

※①については、全スポ特有6競技のみを対象

【令和7年度の変更点】

- ・宿泊料上限（開催準備事業のうち、全スポ本大会・リハ大会視察時に限る）
1人1泊「16,060円」を上限とする実費。※朝・夕食代を含む
朝食・夕食費の領収書 個人領収書も可

2. 競技役員（審判員等）の養成

■ 活用状況（R7年度分）

① 資格取得者総数（見込）：13人

（サウンドテーブルテニス1人、フライングディスク3人、ボッチャ4人、車いすバスケットボール1人、フットソフトボール4人、）

② 6 競技運営団体が滋賀大会の視察を実施

（補足1）補助金交付決定時の内容を引用
（補足2）資格の更新、維持向上者含む



（参考）県内講習会にて講義受講や実技演習を行う様子 ※いずれもR6年度実施から引用

3. 情報支援（手話・要約筆記）ボランティアの養成

■ 概要

聴覚障がい者への情報支援を図るとともに、すべての人に分かりやすい情報提供を行うため情報支援（手話・要約筆記）ボランティアを養成する。

■ 取り組み状況（今年度の予定含む）

（1）養成研修にかかるカリキュラム・テキストの作成

- 令和8年度からのリーダー養成研修、令和9年度からの一般ボランティア養成研修の開催に向けて、手話・要約筆記部会を開催
- 手話・要約筆記ともに、今年度3月末にカリキュラム・テキストの素案が完成予定。来年度9月に最終版が完成予定

■ 手話部会構成団体（6団体）

- ・ 島根県ろうあ連盟
- ・ 全国手話通訳問題研究会島根県支部
- ・ 島根県手話サークル連絡協議会
- ・ 島根県立松江ろう学校
- ・ 手話通訳者養成講師団
- ・ 西部視聴覚障害者情報センター

■ 要約筆記部会構成団体（4団体）

- ・ 島根県難聴者協会
- ・ 全国要約筆記問題研究会島根県支部
- ・ 島根県要約筆記サークル連絡協議会
- ・ 要約筆記者養成講師団

3. 情報支援（手話・要約筆記）ボランティアの養成

■ 取り組み状況（今年度の予定含む）

（2）出前講座の開催

- ・ 県内の手話・要約筆記サークルを中心に、国スポ・全スポの概要や情報支援ボランティア役割などについて説明する出前講座を18回
（12月15日現在）**実施**

■ 出前講座受講人数

	手話	要約筆記	計
サークル	131名	19名	150名
関係団体	50名	16名	66名
計	181名	35名	216名

【受講団体】（ ）内は団体数

- 手話サークル（10）
- 要約筆記サークル（2）
- 関係団体（6）
手話・要約筆記講師団
あゆみの里
手話通訳者派遣コーディネータ会
手話奉仕員
要約筆記研修会

3. 情報支援（手話・要約筆記）ボランティアの養成

■ 取り組み状況（今年度の予定含む）

（2）出前講座の開催

■ 出前講座受講者 アンケート結果

- 情報支援ボランティアの参加意向
（回答数175名）

	手話	要約筆記	計
参加したい	98名	18名	116名
わからない	50名	7名	57名
参加しない	2名	0名	2名
計	150名	25名	175名

【参考：参加意向に関する割合】

- ・ 参加したい：66.3%
- ・ わからない：32.6%
- ・ 参加しない：1.1%

- リーダー研修の受講意向
（参加意向で「参加したい」と回答した116名が対象）

	手話	要約筆記	計
参加したい	36名	11名	47名
わからない	38名	6名	44名
参加しない	23名	1名	24名
計	97名	18名	115名

● 出前講座受講者からのご意見

- ・ 二度とない機会なので、ぜひ参加したい！
- ・ サークル単位で参加したい。
- ・ 島根での開催が楽しみです！多くの方が参加してほしい！

4. 選手発掘・育成、チームの立ち上げ状況について

■ チームの立ち上げ状況

	チームのない団体競技 (令和6年度当初)	R7.12月時点
1	車いすバスケットボール(身体)	チーム立ち上げ、引き続き選手発掘・育成
2	ブラインドベースボール(身体)	現在関係機関とチーム立ち上げに向けて調整中
3	フットソフトボール(知的)	チーム立ち上げ、引き続き選手発掘・育成
4	バレーボール (知的・男性、知的・女性、 身体・男性、身体・女性、)	知的・男性、知的・女性:チーム立ち上げ 身体・男性、身体・女性: チーム立ち上げ 引き続き選手発掘・育成

■ R7年度 中四国ブロック予選大会結果

新規立ち上げチーム	結 果
フットソフトボール(知的)	第3位 (優勝 愛媛県 準優勝 山口県)
バレーボール(知的・男性)	準優勝 (優勝 愛媛県)
バレーボール(知的・女性)	第3位 (優勝 愛媛県 準優勝 山口県)

4. 選手発掘・育成、チームの立ち上げ状況について

■ 課題と今後の方向性

【課題】

- ・ 特に弱視、難聴については、身体障害者手帳を取得できない場合があるため、大会に出場できる選手の確保が難しい現状
- ・ ブラインドベースボールについては、弱視の選手の確保が必要
- ・ 車いすバスケットボールについては、障がいの程度が重い選手（ローポインター）の確保が必要
- ・ 試合経験や指導者の指導力向上が必要
- ・ 移動手段が確保できないために、練習会等に参加したくてもできない現状

■ 課題と今後の方向性

【今後の方向性】

- ブラインドベースボールチームの立ち上げについては、引き続き関係機関と立ち上げに向けて調整を進めるとともに、体験会を実施
- 引き続き体験会の開催、市町村や学校への訪問、出前授業等を通じた選手の発掘を推進
- 今後、強化練習会や指導者講習、対外試合等を通じた選手の育成の取組を推進
- 交通費を含めたチームの活動支援の継続
- 引き続きチームのない団体競技（1競技）の立ち上げや選手発掘・育成を支援し、令和10（2028）年長野大会予選の全チーム参加を目指す

第 8 4 回国民スポーツ大会・第 2 9 回全国障害者スポーツ大会
島根県準備委員会事務局

(島根県環境生活部島根かみあり国スポ・全スポ準備室内)

〒690-0876

島根県松江市黒田町 488-2

TEL:0852-67-4137 FAX:0852-67-4147

E-mail: zenspo2030@pref.shimane.lg.jp